

北Qみらい NO.29

通巻第71号



[発行]

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

[連絡先]

TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
soft@kita9-s.com



報告1: 皆様のご協力に感謝です。

新型コロナウイルスの感染拡大で、全国に緊急事態宣言が発令されました。不要不急の外出自粛と言われている中、病院に行き、検査や必要な薬をもらうための受診等は必要な外出に含まれます。

手話通訳者や盲ろう者通訳・ガイドヘルパーを派遣している当センターでは、感染予防のためにどのような対策をしていくべきか、職員間で何回も話し合いました。

そんな時、「飛沫感染を少しでも防ぐために使用してほしい、通訳者の方達も感染の恐怖があるだろう。少しでもそれを払拭するために、このフェイスシールドを使ってほしい」と、北九州市内のお医者様からいただきました。

「通訳の時にフェイスシールドを使ったら、口元が見やすくなるのではないかと思います、インターネットで検索したら寄付している会社があったので取り寄せた」と、個人の方からも寄付いただきました。

また、別の方からは透明マスクの寄付をいただきました。

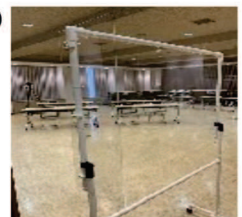
さらに、皆さんすでにご覧になったことがあるかと思いますが、北九州市長の定例記者会見の時の手話通訳者の前に設置してあるアクリル板は、北九州市八幡西区の『有限会社 九州技研』様が寄贈してくださいました。

このアクリル板は、通訳者の前に立てたら『通訳者も守れる』『しっかりと情報を提供できる』のではないだろうかという意見が情報センターの職員間で挙がりました。そして「どのように設置させたらいいのだろうか」とホームセンターで購入したアクリル板1枚を眺めながら試行錯誤していた時の、当センターからの飛び込みの電話に、快く対応していただき、職員の意見をお伝えして製作していただきました。

今回の新型コロナウイルス感染では、様々な生活様式が変わりました。今までは当たり前だったことが、今では当たり前ではなくなっています。

しかし、いろいろな人に支えられていることは変わりありません。

本当に、ありがとうございました。人との絆に感謝いたします。



寄贈いただいたアクリル板

情報1: 北九州市長の定例記者会見に手話通訳がつきました。

北九州市長の記者会見に初めて手話通訳がついたのは4月7日(火)でした。この日は、安倍首相が緊急事態宣言を発表した日でした。

緊急事態宣言の記者会見があり、その記者会見に北九州市聴覚障害者協会から手話通訳を付けてほしいとの要望があり、その日以来、北九州市長の定例記者会見や緊急会見には手話通訳がつくようになりました。

はじめの頃は市長との間にアクリル板がなかったのですが、今では立派なアクリル板ができました。正面からはわかりづらいのですが、このアクリル板はL字型になっていて、市長との間にもアクリル板が付いています。

今後も北九州市の状況を多くの方に伝えられるように通訳をしていきます。



市長記者会見の通訳の様子

報告2:「全国聴覚障害者情報提供施設協議会」の中止

センター長 安藤 薫

皆さんお元気にお過ごしでしょうか？

北九州市は、全国の中でもいち早く第2波がおとすれ、右も左もコロナ、コロナで気分も滅入ってしまいましたね。でも、きっといち早く収束するのも北九州だと信じて、前向きに頑張りましょう！

「愈すれば花ひらく」っちゃ ※「ちゃ」は北九州の方言です。

さて、先月6月の25日（木）・26日（金）で「全国聴覚障害者情報提供施設協議会 総会及び大会」を当市のリーガロイヤルホテル小倉で開催する予定でしたが、このような状況下でしたので、中止となりました。1年前から準備会を設け、関係者の方々にご協力をいただきながら職員で取り組んできたので、残念ですが致し方ありません。楽しみにされていた全国の方々にも大変申し訳ありませんでした。

北九州市は、自然も多く「程よい都会、程よい田舎」と言われ、シニア世代が住みたい田舎（笑）1位なんです。私はこの街が大好きです。

北九州市の魅力を「目で聴くテレビ」や「YouTube」でも配信していますので、是非ご覧いただき、コロナが収束した折には、是非お越しください。

職員一同、おもてなしさせていただきます。

**情報2: 防災・減災 ひとり一人、できることを・・・①**

九州北部も6月11日頃に梅雨入りしました。北九州市でも近年、7月頃から、大雨が降り、避難が必要になった地域が発生したことも多々ありました。

もし大雨で避難が必要になったら、みなさんはどうしますか？

避難所へ避難しますか？安全が確認出来ていたら、そのまま自宅に残りますか？

それとも、安全な親戚や友人宅へ避難しますか？

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、避難が必要になった場合、予定避難場所や一時避難地へ行くことを戸惑う方もいると思います。今『予定避難所・一時避難地』へ避難する方法の他に、安全が確保された自宅に残る『在宅避難』や、避難する場所を指定避難所ではなく、親戚・友人宅などの安全な所へ避難するという方法があります。それは、避難所が『3密（密集・密接・密閉）』になる可能性があるから、または自宅から避難所までの経路が安全ではない場合があるからです。

日頃からの備えの中に『マイ避難所の確保』も加えてくださいね。

さて、避難所へ避難する・在宅避難・分散避難という、どの選択肢を選んでも、常日頃から大切なことは『非常持ち出し袋』と『備蓄品』を準備しておくこと。以前、北九州市の各世帯に配布された『北九州市 防災ガイドブック』にも非常持ち出し袋や備蓄品のリストが掲載されています。

今回、別紙でもリスト作成してみました。このリストを参考に、それぞれの家族構成にあった品を追加し、事前に用意しておく、いざという時に役に立つと思います。

災害は、いつ起こるかわかりません。何もない“今”のうちに、自宅が安全なのか、どこに避難することが自分の命を守ることなのか、何を準備しておけばいいのか、など家族と一緒に考えて、確認してください。

まずは、ひとりひとりが『自分の命は自分で守る』という意識を持つことが大切です！



紹介1: 新職員の紹介

4月から、北九州市立東部障害者福祉会館内にあります、視聴覚障害者情報センターに新しい職員が配属されました。みなさん、どうぞよろしくお願いいたします。

☆永手 靖志（ながて やすし）さん☆

4月よりセンター庶務を担当しております。前職では福祉とは縁ないIT業種でしたので今までの経験を活かせればと思っています。

この担当業務は初めての経験ばかりですが初心に戻って早く仕事に慣れるよう頑張ります。



よろしく
お願いします

予告1: 情報保障付き講演会(手話・要約筆記・字幕)

開催日が9月までの、北九州市主催情報保障付き講演会の情報はありません。(7月15日現在)最新の情報については、北九州市の市政だより等でご確認ください。

情報3: 自主制作の紹介(YouTube配信・DVD/BD貸出)

新型コロナウイルスシリーズ(手話・字幕・音声一部付き)の動画を作成しました。それぞれのテーマについて、わかりやすく説明しています。ぜひ、ご覧ください。

☆YouTube配信☆

北九州市身体障害者福祉協会ホームページ

<https://www.youtube.com/channel/UCjBjEw4ApQ75O6dydi4yf7w>

☆貸出用☆

【DVD 各作品1枚】

- ①飛沫感染と接触感染(手話と字幕付きのみ 7分17秒)
- ②人と人との接触8割減へ10のポイント(手話と字幕付きのみ 8分36秒)
- ③人と人との接触8割減へ10のポイント(手話と字幕・音声付き 8分36秒)
- ④届ける10万円一律給付(手話と字幕・音声付き 13分46秒)
- ⑤咳エチケットとマスクのつけ方(手話と字幕・音声付き 13分35秒)
- ⑥マスクの供給と布マスクの洗い方(手話と字幕・音声付き 10分40秒)
- ⑦クラスターを防ぐために(手話と字幕・音声付き 14分50秒)

【BD 3作品1枚】

- ①飛沫感染と接触感染(手話と字幕付きのみ 7分17秒)
- ②人と人との接触8割減へ10のポイント(手話と字幕・音声付き 8分36秒)
- ③届ける10万円一律給付(手話と字幕・音声付き 13分46秒)

【BD 3作品1枚】

- ①咳エチケットとマスクのつけ方(手話と字幕・音声付き 13分35秒)
- ②マスクの供給と布マスクの洗い方(手話と字幕・音声付き 10分40秒)
- ③クラスターを防ぐために(手話と字幕・音声付き 14分50秒)



自分が感染しないためには、大切な人を感染から守るためには、どうしたらいいのか。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、私たちの日常は新しい生活様式に変わりつつあります。

今回作成した動画では、それぞれのテーマについて、わかりやすく説明しています。手話・字幕・音声付きですので、ぜひたくさんの方に見ていただきたいと思います。

貸出用もありますので、みなさんどうぞご覧くださいね。

情報4：DVD新入荷 『世界のクロサワ』映画

「世界のクロサワ」と呼ばれる日本を代表する映画監督、“黒澤明”監督の作品です。

○『悪い奴ほどよく眠る』（150分 東宝） 1960年〈昭和35年〉制作

土地開発公団の副総裁、岩淵の娘・佳子と、岩淵の秘書・西の結婚式が行われる。式の直前に公団の課長補佐である和田が警察に拘束され雰囲気は物々しい。ぎこちない空気の中で運ばれてきた新庁舎型のケーキ。5年前に不正を疑われた古谷が飛び降り自殺した7階の窓に赤いバラが刺さっていた。保釈された和田は自殺を図ろうとしたところを西に助けられる。和田の上司である白井と守山を追い詰めていく西の正体は…。昭和35年 黒澤明監督作品。

○『椿三十郎』（96分 東宝） 1962年〈昭和37年〉制作

次席家老の黒藤と国許用人の竹林の汚職を告発しようと若侍たちが立ち上がる。

若侍の1人、井坂は城代家老の陸田に粛清の意見書を出す相手がされない。一方で大目付の菊井は意見を聞き入れ若侍一同に会いたいという。菊井こそ黒幕だと指摘する。菊井は自分たちの汚職を擦り付けるために陸田を拉致し若侍たちを一網打尽にしようとしたのだ。若侍と椿三十郎は陸田とその妻子の救出に動き出す。昭和37年 黒澤明監督作品。

報告3：派遣事業の件数 出タ（専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者）**専任手話通訳者**

	個人	団体	計
4月	174	8	182
5月	184	20	204
6月	237	9	246
総計	595	37	632

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
4月	7	0	7
5月	5	0	5
6月	8	0	8
総計	20	0	20

要約筆記者

	個人	団体	計
4月	1	0	1
5月	0	0	0
6月	4	0	4
総計	5	0	5

編集後記

夏本番という暑さになってきましたね。

暑いけれど、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためには、マスクの着用が必要と言われています。熱中症も心配。（マスクの形の）日焼けも心配…。いろんな心配ごとが増えました。

熱中症予防として、『屋外で人と十分な距離が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう』と呼びかけていますね。

また、布マスクと不織布マスクを場面によって使い分けることも感染症予防・熱中症予防につながるそうです。“夏マスク”など涼しく感じる素材でできたマスクも販売されています。

これからしばらくは、マスク着用の際の暑さ対策が必須になりますが「しっかり食べて、しっかり寝る。運動をして体力を維持する。こまめな水分補給を行う。」など、今までと変わらない熱中症対策が必要ということですね。

**貸出状況の出タ**

	貸出人数	貸出本数
4月	1	3
5月	0	0
6月	2	5
総計	3	8